

6155 高松機械工業 20/3 期決算メモ 受注残 6 ヶ月で受注環境も極寒状況

米中摩擦で 20/3 期 3.1%減収 20%営利減、21/3 期コロナ直撃で会社予想甘く赤字転落懸念
 株価 553 円 (5/1) 時価総額 61 億円 (5/1) 発行済株 11020 千株 (5/1)
 PER (19/3DO 予-X) PBR (0.39X) 配当 21/3 期 DO 予 0 円 配当利回り : 0%

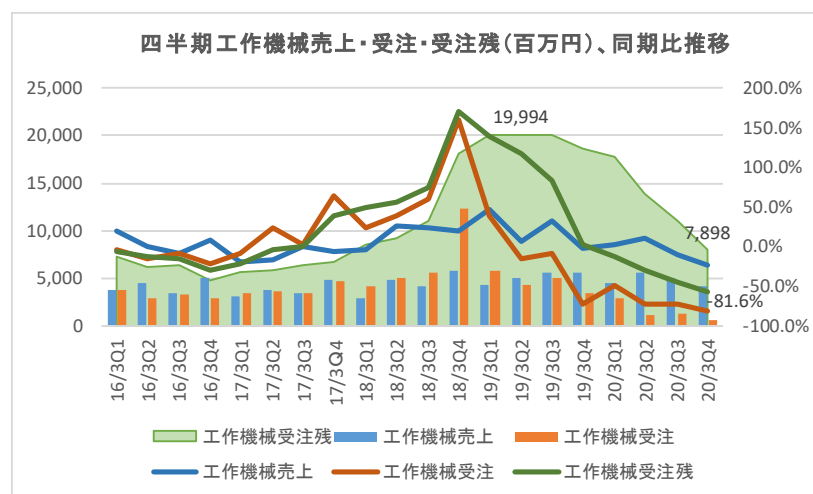
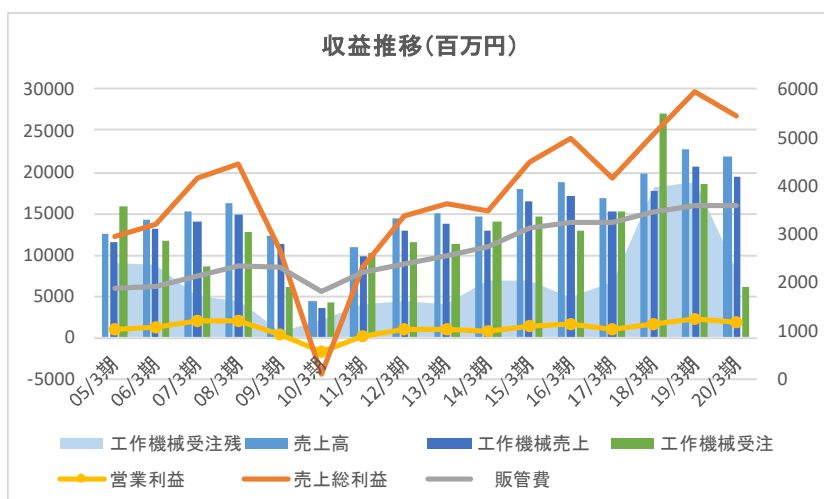
要約

- ・ 20/3 期は米中摩擦で 20/3 期 3.1%減収 20%営利減、受注はコロナ影響もあり 67%減
- ・ 21/3 期は受注残急減と自動車設備投資抑制で 18.6%減収 59%営利減予想も更に減額懸念
- ・ 22/3 期にはアフタコロナとして自動車産業の自動化設備投資など期待も回復は緩やか
- ・ 株価は会社予想減額見通しで 3/23 安値 480 円を再更新し、400 円大台割れて続落も

20/3 期は米中摩擦で 20/3 期 3.1%減収 20%営利減、受注はコロナ影響もあり 67%減

5/1 に 20/3 期決算が開示されたが、6 月予定の説明会は中止された。20/3 期は売上高

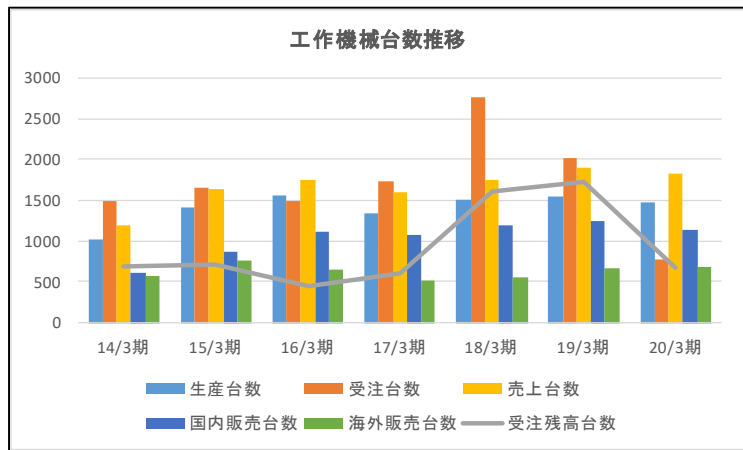
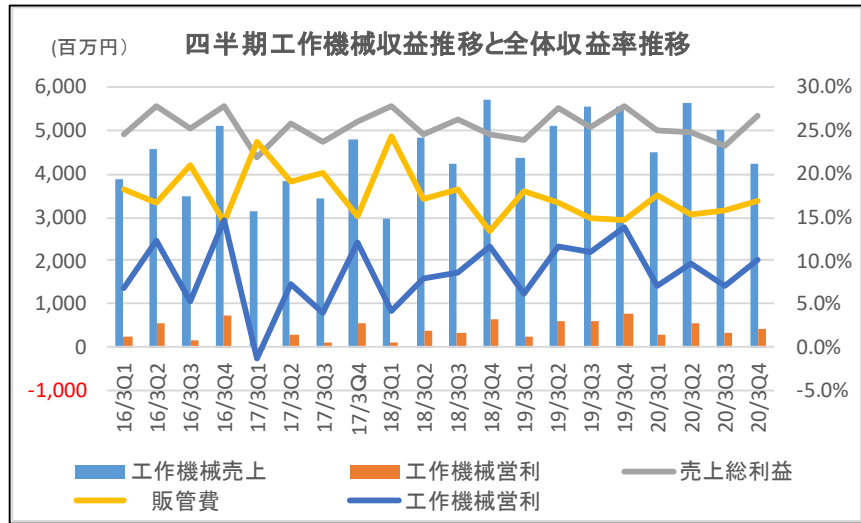
219.47 億円 (13.1%減) 営利 18.6 億円 (20.1%減)、経常利益 20.53 億円 (17.8%減)、税引利益 14.15 億円 (17.2%減)、受注額 60.92 億円 (67.1%減) となった。11/12 の減額修正予想に対して売上高で 9.0 億円、営利で 4 億円、そして受注では 20 億円という大きな未達で着地した。主力の工作機械は売上高 193.58 億円 (5.8%減)、営利 16.45 億円 (126.6%減) となった。受注高が米中摩擦激化で約 60%弱を占める同社最大ユーザの自動車産業向けに低迷、コロナウイルス影



響もあって Q4 で大幅失速し、業界平均 34.9% 減に対し 67.1% 減 (Q4 は業界 40.7% 減に対し同社は 81.6% 減) と業界を大きく上回る減少を余儀なくされた。Q4 だけの収益は 20.4% 減収、40.7% 営利減とな

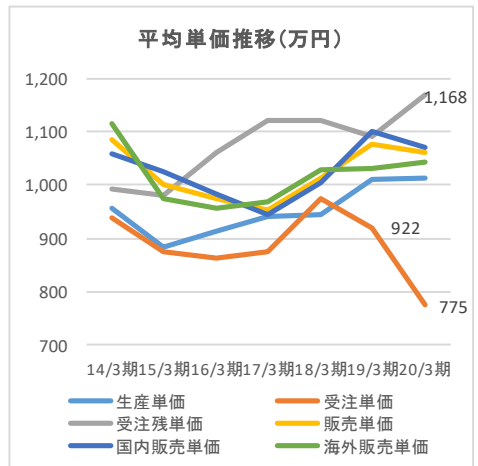
っている。また手持ち受注残は 5.5 か月 (前年度末は 13 ヶ月) と、21/3 期の上期分しか確保できていない。

なお IT 関連製造装置は 33.6% 増収、営利 2.1 倍と好調、自動車部品加工は 6.5% 増収、営業損失 0.33 億円 (横ばい) となっているが、全体収益に与える影響は少ない。



21/3 期は受注残急減と自動車設備投資抑制で 18.6% 減収 59% 営利減 予想も更に減額懸念

21/3 期会社予想は売上高 178.75 億円 (18.6% 減)、営業利益 7.6 億円 (57.0% 減)、経常利益 8.82 億円 (57.0% 減)、税引利益 6.55 億円 (53.7% 減) 予想と厳しい。基本的に工作機械受注残高が 5.5 ヶ月分しかなく、しかも前期は受注単価が大幅に下落している。また同社の本社は石川県にあり、今回の緊急事態宣言延長において「特定警戒都道府県」に指定され、様々な制約が継続される。さらに主力ユーザーが自動車産業であり、世界的な自動車販売不振を背景とした設備投資先送りの影響ももろに受けるとみられ、上期受注は業界並みの 20% 減が精一杯とみられる。また IT 関連も多くは期待できず、自動部品加工は赤字拡大が懸念される。このため上期は売上高 95.53 億円 (16.3% 減)、営利 6.01 億円 (38.0% 減) 予想ながら、高単価の受注残高消化があっても新規受注



が業界並みの減少と仮定すると、Q4 比較で減収、減益率の縮小はあり得ず、稼働率低下の延長で収益の大幅減額から、営業利益は収支均衡程度に止まると見込まれる。また下期は受注単価低下の影響が本格化して 21.0%減収、営利 82.1%減予想も、受注低迷で営業大幅赤字転落があり得る。このため、通期業績として赤字転落が見込まれる。

なお同社は昨年 11 月に新工場建設のために固定資産を取得したが、市場環境の激変を受け、新工場建設着工を半年延期し 20 年 10 月に、また操業開始予定を 1 年延期し 22 年 4 月予定に変更している。

22/3 期にはアフタコロナとして自動車産業の自動化設備投資など期待も回復は緩やか

22/3 期はコロナ影響終息を前提に、自動車産業の設備投資回復、また自動化ニーズの高まりなどから、21/3 期下期からの受注底打ちを受け、収益は回復しよう。具体的に同社の強みは 2 スピンドル型の省スペース小型工作機械で先行、最近では 3 スピンドル搭載機種も投入、更にロボットやローダー、ストッカー、切り子処理装置など周辺装置も手掛け、システム納入できる点にある。本来であれば 1 年を超す受注残高に対し、新工場で対応する状況が想定されたが、コロナ影響で状況が一変した。元々小型工作機械ながらシステム納入比率が高く、納期が長くなる傾向があり、22/3 期は受注大幅回復見通しながら、収益の本格回復は 23/3 期にずれ込もう。但し、中期的には省スペース・省人化、さらにはスカイピング工作機械など新機種の拡大も見込まれ、21/3 期をボトムに、再度業容拡大が期待される。



株価は会社予想減額見通しで 3/23 安値 480 円を再更新し、400 円大台割れて続落も

株価は 3/23 に年初来安値 480 円から相場回復で 2 割戻した水準にある。現状、会社 21/3 期予想 EPS60 円に対し PER9.2 倍水準に割安感はない。しかも今後、受注残の少なさから上期会社想定を上回る業績悪化が懸念され、再度新安値更新が懸念され、赤字転落懸念が高まれば 400 円大台割れて続落もあり得る。

高松機械工業(6155)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/3期	22,650	14.5%	2,329	45.7%	2,500	53.5%	1,708	53.0%	158.12	22.00
20/3Q1	5,156	4.8%	378	31.3%	419	27.0%	281	26.0%	26.12	0.00
20/3Q2	6,263	11.6%	592	-3.0%	638	-2.0%	445	-1.1%	41.24	10.00
20/3Q3	5,716	-5.9%	426	-33.0%	487	-30.5%	340	-31.0%	31.38	0.00
20/3Q4	4,812	-20.4%	464	-41.6%	509	-37.8%	349	-35.6%	32.02	15.00
20/3H1	11,419	8.4%	970	8.0%	1,057	7.7%	726	7.9%	67.36	10.00
20/3H2	10,528	-13.1%	890	-37.8%	996	-34.4%	689	-33.4%	63.40	15.00
20/3期期初会予	23,835	5.2%	2,454	5.4%	2,579	3.2%	1,819	6.4%	169.17	25.00
20/3期修正会予(11/11)	22,853	0.9%	2,260	-3.0%	2,421	-3.2%	1,671	-2.2%	154.35	25.00
20/3期	21,947	-3.1%	1,860	-20.1%	2,053	-17.9%	1,415	-17.2%	130.76	25.00
21/3H1会予	9,553	-16.3%	601	-38.0%	617	-41.6%	432	-40.5%	39.63	7.00
21/3H2会予	8,322	-21.0%	159	-82.1%	265	-73.4%	223	-67.6%	20.44	13.00
21/3期会予	17,875	-18.6%	760	-59.1%	882	-57.0%	655	-53.7%	60.07	20.00
21/3H1DO予	7,000	-38.7%	0	-100.0%	10	-99.1%	10	-98.6%	0.92	0.00
21/3H2DO予	6,000	-43.0%	-500	赤転	-460	赤転	-460	赤転	-42.19	0.00
21/3期DO予	13,000	-40.8%	-500	赤転	-450	赤転	-450	赤転	-41.27	0.00
22/3H1DO予	7,500	7.1%	100	黒転	100	900.0%	70	600.0%	6.42	0.00
22/3H2DO予	9,000	50.0%	500	黒転	550	黒転	380	黒転	34.85	12.00
22/3期DO予	16,500	26.9%	600	黒転	650	黒転	450	-200.0%	41.27	12.00

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	16,981	19,780	22,650	21,947	17,875	13,000	16,500
売上原価	12,804	14,744	16,709	16,502		10,350	12,600
売上総利益	4,176	5,036	5,940	5,444		2,650	3,900
販管費	3,237	3,436	3,611	3,583		3,150	3,300
営業利益	938	1,599	2,329	1,860	760	-50	600
経常利益	906	1,629	2,500	2,053	882	-450	650
親株主帰属純利益	730	1,116	1,708	1,415	655	-450	450

セグメント売上情報年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械売上	15,196	17,721	20,557	19,358		10,600	14,000
IT	766	1,300	1,327	1,774		1,700	1,800
自動車部品	1,019	758	764	814		700	700
合計	16,981	19,780	22,650	21,947	17,875	13,000	16,500

セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械営業利益	958	1,532	2,242	1,645		50	950
IT	0	113	120	257		200	200
自動車部品	-20	-45	-32	-33		-50	-50
営業利益	938	1,599	2,329	1,860	760	200	1100

セグメント受注	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械受注	15,193	27,022	18,504	6,092		6,000	14,000

セグメント受注残	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械受注残	6,709	18,157	18,727	7,898		3,298	3,298

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	75.4%	74.5%	73.8%	75.2%		79.6%	76.4%
売上総利益	24.6%	25.5%	26.2%	24.8%		20.4%	23.6%
販管費	19.1%	17.4%	15.9%	16.3%		24.2%	20.0%
営業利益	5.5%	8.1%	10.3%	8.5%	4.3%	-3.8%	3.6%
経常利益	5.3%	8.2%	11.0%	9.4%	4.9%	-3.6%	3.9%
親株主帰属純利益	4.3%	5.6%	7.5%	6.4%	3.7%	-3.6%	2.7%

セグメント営業利益率	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械営業利益	6.3%	8.6%	10.9%	8.5%		0.5%	6.8%
IT	0.0%	8.7%	9.0%	14.5%		11.8%	11.1%
自動車部品	-2.0%	-5.9%	-4.2%	-4.1%		-7.1%	-7.1%

